



第9回上田八木・金融政策サーベイ(2017年1月)の結果について

～大勢は政策変更なしの見方。10年国債金利予想DIは調査開始以来の大幅な上昇。

発表日：2017年1月27日(金)
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 市場関係者の大勢(99%)は来週初のMPMの政策変更なしとの見方。
- 3か月先の金利見通し(「上昇」-「低下」構成比(%))については、無担保コールON金利DIが+4(前回+7)と若干の低下、一方、10年国債金利予想DIは+24と調査開始以来の大幅な上昇となった。この間、2年国債金利予想DIは前回と同じ+25。
- 金融緩和からの「出口開始時期」は、「1年以上3年未満」の見方が58%と前回(51%)より増加。

【調査の概要】

調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(200先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2017年1月24日～26日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	95.5% (回答者数191先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

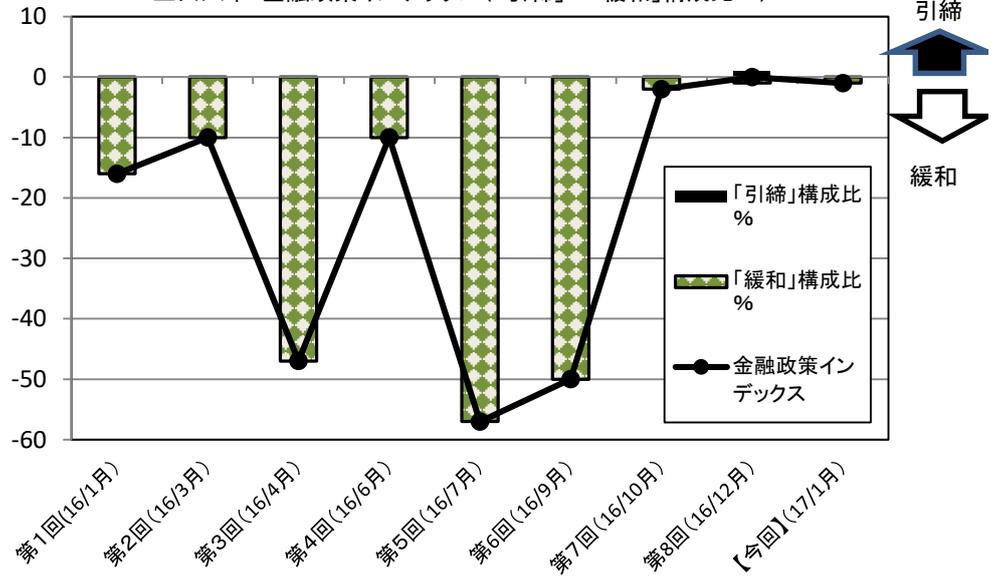
(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(1月30日～1月31日)における決定について

回答者全体の99%が「不変」とみている。「緩和」とみる先は1%だった。「引締」を予想する先はなかった。

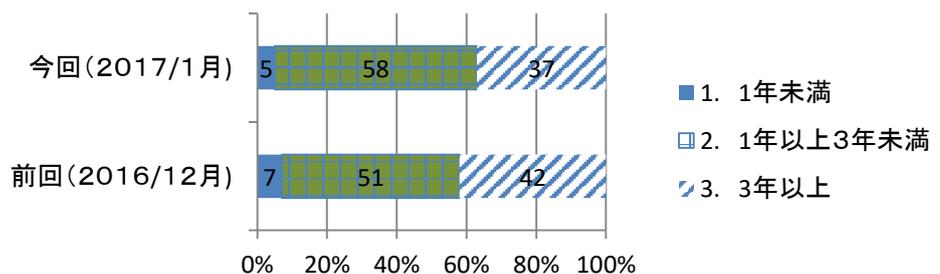
上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、▲1(前回は0)だった。

前回(12月調査)との比較では、「緩和」とみる先は前回と同じ。「不変」とみる先が+1%ポイント(前回98%→今回99%)。「引締」とみる先が▲1%ポイント(前回1%→今回0%)。

(構成比 %) 上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)



【前回からの追加質問:Q5】現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は？

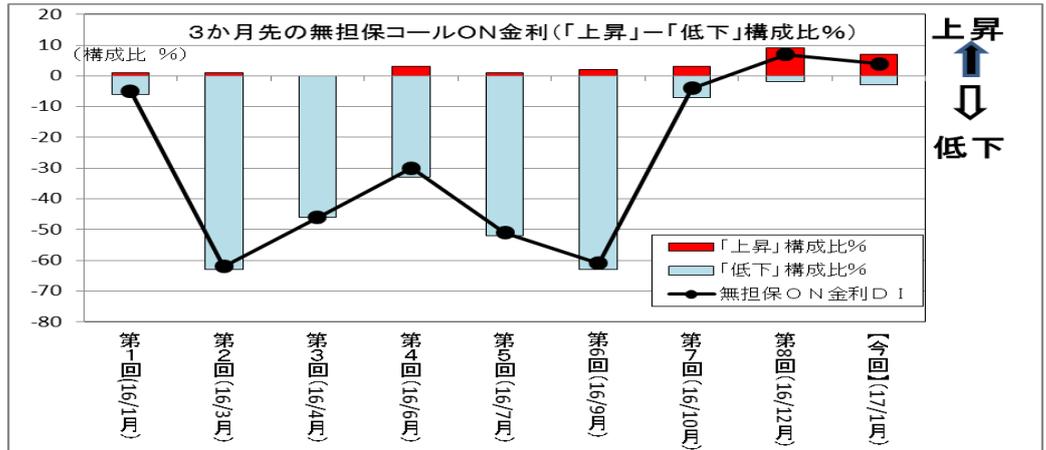


(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の90%が「不変」と予想。3%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は7%だった。

前回との比較では、「低下」とみる先は+1%ポイント(前回2%→今回3%)。「不変」とみる先が+1%ポイント(前回89%→今回90%)。

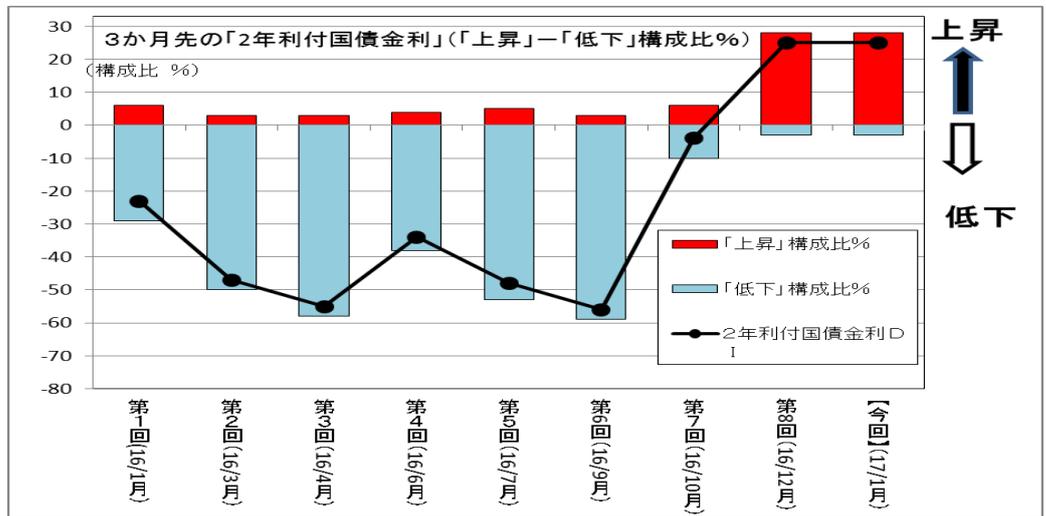
「上昇」とみる先が▲2%ポイント(前回9%→今回7%)。



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の69%が「不変」を予想。3%が「低下」。「上昇」を予想した先は28%であった。

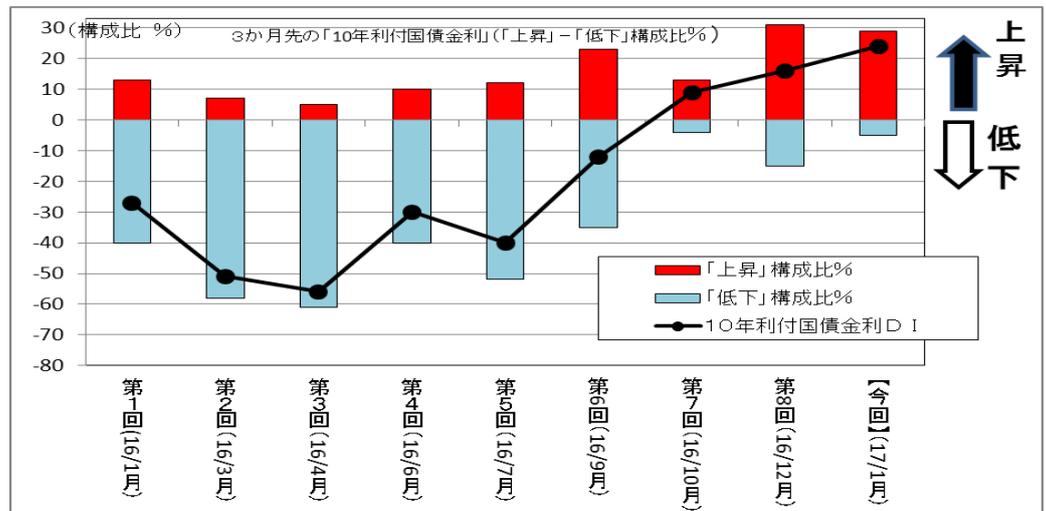
前回との比較では、すべて前回と同じ比率だった。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の66%が「不変」を予想。5%が「不変」、「上昇」を予想した先は29%。この結果、DIは過去最大(+24)。

前回との比較では、「低下」とみる先が▲10%ポイント(前回15%→今回5%)。「不変」とみる先は+12%ポイント(前回54%→今回66%)。「上昇」とみる先は▲2%ポイント(前回31%→今回29%)。



【本調査に関する照会先】
企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)

第9回上田八木・金融政策サーベイ(2017年1月)

発表日：2017年1月27日（金）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2017年1月24～26日
調査先	200先
回答率	95.5%

（Q1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（1月30日～1月31日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回12月16日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	1	0
不変	99	98	+1
引締	0	1	▲1
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲1	0	▲1

（Q2）3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月16日)	変化幅
低下	3	2	+1
不変	90	89	+1
上昇	7	9	▲2
短期金利予想DI	+4	+7	▲3

（Q3）3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月16日)	変化幅
低下	3	3	0
不変	69	69	0
上昇	28	28	0
2年国債金利予想DI	+25	+25	0

（Q4）3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月16日)	変化幅
低下	5	15	▲10
不変	66	54	+12
上昇	29	31	▲2
10年国債金利予想DI	+24	+16	+8

質問（Q5）現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

（ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません）

	(今回)	(前回12月16日)	変化幅
1. 1年未満	5%	7%	▲2%
2. 1年以上3年未満	58%	51%	+7%
3. 3年以上	37%	42%	▲5%